

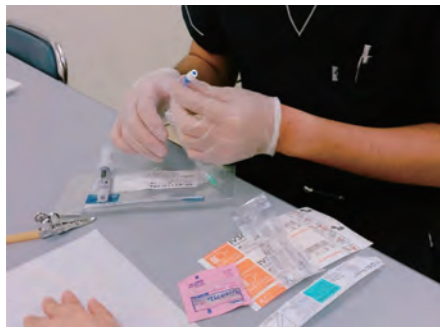


23

# 北里大学メディカルセンター

医師数(研修医除く) 82名(うち指導医数25名)  
 病床数 372床  
 研修医数 1年目8名 2年目6名  
 昨年度マッチング受験者数 41名  
 研修医の主な出身大学 北里大学、名古屋大学、信州大学、獨協医科大学、秋田大学、新潟大学、日本大学、中国大連医科大学  
 診療科 内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科(全27科)  
 1日平均外来患者数 684.6名  
 1日平均入院患者数 213.9名  
 主な認定施設 災害拠点病院、埼玉DMAT・埼玉SMART(特別機動援助隊)指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、地域医療支援病院 ほか

## 研修プログラムの特色



臨床研修医が2年間に習得する必要がある「臨床研修の到達目標」を満たすとともに、各診療科の臨床研修の到達目標を定め研修医による自己評価と指導医による評価を行い適切、かつ、高質な研修を提供できるよう配慮しています。また、少人数制による密度の高い指導体制を敷いています。  
 専門分化した医療技術を習得する前段階として、全人的な初期治療のできる臨床医を育成することを目標としており、特にプライマリ・ケアに重きを置き、救急医療疾患に広く対処できるような医師を目指します。また、法人の取り組みとしてのチーム医療教育ができるプログラムです。  
 2年次には自由選択枠があり、将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自で組み立てることができます。

北里大学メディカルセンター臨床研修プログラム(募集定員8名)

プログラム例	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目	内科(外来研修8週含む)						救急(うち麻酔科4週)	麻酔科	外科	産婦人科	小児科		
2年目	精神科	自由選択										地域医療	

《1年次》内科24週、救急部門12週(うち麻酔科4週)、麻酔科(4週)、外科(4週)、産婦人科(4週)、小児科(4週)  
 《2年次》精神科(4週)、地域医療(4週)、自由選択(40週)  
 自由選択枠については、当院を含め北里大学病院、北里大学北里研究所病院及び東京ベイ浦安市川医療センターの各診療科において、希望の診療科と調整の上決定します。将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自選択することができます。

## 研修医の処遇

給与 1年次 約300,000円/月 2年次 約330,000円/月  
 諸手当 時間外手当、住宅手当、宿日直手当、救急手当等  
 保険 組合健保(私学共済)、共済組合(長期給付)、雇用保険あり、労災保険・公務災害適用、厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険(病院において加入しているが個人でも強制加入)  
 勤務時間 8:30~17:00  
 当直 あり(3~4回/月)  
 休暇 有給休暇(1年次:12日、2年次:16日)  
 宿舎 あり  
 その他 奨励金:年2回支給 1年次 約100,000円 2年次 400,000円

## 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・北里大学病院
- ・北里大学北里研究所病院
- ・埼玉県済生会鴻巣病院
- ・東京ベイ・浦安市川医療センター
- ・渡辺医院
- ・サンビレッジクリニック鴻巣
- ・春日部在宅診療所ウエルネス



## スキルアップ支援とコミュニケーションの充実

当院では医師を中心に様々なメディカルスタッフの協力により、研修医のスキルアップに重要な勉強会を多数開催しています。職種間の垣根も低いので多職種とのコミュニケーションがとりやすい環境です。

- 例) 輸液療法・ルート・ポンプの扱い方(主催:看護部)
- 日本肝癌研究会提唱の肝細胞癌診断アルゴリズム(主催:放射線部)
- 検査技師による採血指導、血液像の読み方(主催:検査部)・・・等々

また、全診療科が同じ医局を使用しており、そこに研修医の机を配置することで、診療科の垣根を越えたコミュニケーションがとりやすい環境です。上級医との信頼関係も築きやすく、「相談しやすい・コミュニケーションがとりやすい」と研修医から好評です。医局とは別に「臨床研修医室」も設けているため研修医だけの環境もあり、適宜自分の時間を確保できるよう配慮しています。



## 研修責任者から



臨床研修センター長  
長場 泰

大学病院 VS 市中病院、多くの医学生がまず最初に悩むことです。北里大学メディカルセンター(地域支援病院)は、埼玉県県央地区の中核的医療施設として機能しており、北里大学の分院として、大学病院(特定機能病院、相模原市)と北里研究所病院(都市型救急病院、東京白金)との連携を行い大学病院的な医療と地域医療をバランスよく研修することが可能なプログラムを提供しています。3病院の自由選択期間(2年目の6か月間)を設けることにより、プライマリケアから高度先進医療まで、希望する研修を行うことが可能です。また北里大学は薬学部、看護学部、医療衛生学部などを有する医療系総合大学であり診療科や職種を超えたチーム医療を重視しています。「市中病院も大学病院もどちらも経験できる研修プログラム」そんなうまい話かと思ったあなた、ぜひ当院へ見学に来てください。

## 先輩研修医から

研修医1年目 井上 真希

私が北里大学メディカルセンターで初期研修をしていて魅力と感じている点は研修医が少人数なので個人の能力や性格に合った研修が行えるところです。自分に合った学び方で臨床現場に必要な知識を身につけながら判断力を磨くことができます。また、当院は市中病院ではありますが上級医の先生方は大学からいらっしやっている方も多いため基本的なことから専門的な最新治療までご指導頂ける環境です。北里大学の系列ということもあり3年目以降の進路も幅広く選択できるのでぜひ一度見学にいらしてください。



研修医1年目 藤野 真子

当院の特徴は市中病院と大学病院のいい所を両方経験できる点です。1年目は地域に根付いた中規模病院である当院でcommon diseaseをしっかりと学ぶことができます。指導体制も厚く、また1学年が少人数であるため、一人一人への指導がとても充実しています。一方2年目は神奈川県にある北里大学病院での研修を選択でき、大学病院における最先端医療を学ぶことができます。市中病院及び大学病院での初期研修にはそれぞれメリット、デメリットがありますが、当院のプログラムでは両方のいい所取りができるものとなっています。少しでも興味がありましたら、ぜひ見学にいらしてください。当院の良いところを感じていただけたらと思います。



## 女性医師支援コーナー



保育園「オレンジハウス」  
 豊かな自然環境を背景に自由保育思想を取り入れ、のびのびと子供の個性を育む保育園「オレンジハウス」。  
 子供の成長に合わせた教育システムや多彩な年間行事も充実。仕事と家庭生活の両立を図る当院スタッフの力強い支えとなっています。  
 夜勤の仕事に携わる職員の要請に応じ、週2回の夜間保育も実施。安心して仕事が継続できるよう、バックアップ体制も万全です。  
 ・病児保育室あり 定員:3名

## 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

※病院見学 随時受付中です。  
 いつでもお気軽にご連絡下さい。

連絡先	北里大学メディカルセンター 人事課 人事・教育研修係
住所	〒364-8501 北本市荒井6-100
TEL	048-593-1215(人事課直通)
FAX	048-593-1239
E-mail	k-rinsho@kitasato-u.ac.jp
URL	http://www.kitasato-u.ac.jp/kmc-hp/
アクセス	JR高崎線北本駅からバス約15分位

